

令和4年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会 会議概要

- 1 会議名 令和4年度 第1回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会
- 2 日時 令和4年5月25日(水) 午後3時00分から午後4時00分まで
- 3 場所 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- 4 出席者 太田 寛 会長、佐藤 栄治委員、石坂 公明委員(代理 中川 誠氏)、  
飯田 史晴委員、越野 武一委員、土肥 照佳委員、奥山 修司委員、  
武井 学委員(代理 胡桃 建夫氏)、高橋 秀生委員、笠原 健市委員、  
望月 熙史委員、二條 宏昭委員(代理 藤本 忠和氏)、松井 道夫委員、  
増田 早苗委員、中村 豊江委員、大谷 高委員、山崎 徳昭委員、  
小岩井 清志委員、耳塚 喜門委員、大内 清彦委員、渡辺 睦宏委員、  
西郷 靖純委員、小松 裕委員、園田 弘世委員(代理 篠原 一弘氏)、  
平林 洋一委員、渡辺 守委員、野口 武史委員、今吉 聡委員、矢口 泰委員  
事務局：黒岩政策経営課長、藤澤企画担当係長、企画担当主査中嶋、企画担当主査内川
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記者 1人
- 7 傍聴者 0人
- 8 会議録作成年月日 令和4年6月10日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
  - 2 あいさつ
  - 3 協議事項
    - (1) 専決処分の承認を求めることについて
    - (2) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 事業報告について
    - (3) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 決算報告について
    - (4) 地域間幹線系統確保維持計画「四賀線」(案)について
    - (5) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
  - 4 報告事項
    - (1) 各路線運行実績報告について  
(あづみん、定時定路線、あづみ野周遊バス、中房線、信州まつもと空港シャトル便)
    - (2) デマンド交通「あづみん」のリニューアルについて
  - 5 その他
  - 6 閉 会
- 3 協議事項
- (1) 専決処分の承認を求めることについて  
【事務局説明】・・・資料1  
・収入支出す算の補正として、それぞれ5,500,000円を減額し、総額75,912,000円とする。  
《承認》
  - (2) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 事業報告について  
【事務局説明】・・・資料2

- ・市内全域においてデマンド交通あづみんを運行した。また、市内3路線で定時定路線を運行し、令和3年7月2日をもって明科駅潮沢地区路線は廃止した。
- ・令和3年7月から、定時定路線2路線について路線延長及び16時便増設などを実施した。
- ・デマンドの課題である「待ち時間が読めない」や「予約が取りにくい」などの課題解消のため部会等での検討を実施した。
- ・令和3年5月開催の総会で「巡回バスを運行しない」ことを確認した。
- ・令和4年秋の新運行に向け、システム更新のための業者選定（公募型プロポーザル）を実施した。

《承認》

(3) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 決算報告について

【事務局説明】・・・資料3

- ・収入は、安曇野市一般会計から75,878,193円。
- ・支出は、運営費として、会議費327,265円、事務費681,076円。事業費として、運行費74,869,852円。合計は、75,878,193円。

【飯田委員説明】

- ・監査について、5月10日に、松本地域振興局および安曇野市商工会にて監査を行った結果、正確であることを確認した。

《承認》

(4) 地域間幹線系統確保維持計画「四賀線」(案)について

【藤本氏（二條委員代理）説明】・・・資料4

- ・松本バスターミナルから四賀支所へ向かう路線で、安曇野市については大口沢を通過する。
- ・計画期間は令和4年10月1日から令和7年9月30日までとなっている。
- ・自動車保有や普及率の上昇により、利用者数は年々減少傾向にあるが、旧四賀村から松本市街地へ向かう唯一の公共交通であり、市街地へ通学する高校生や病院へ通院する高齢者が利用していることから重要な路線である。
- ・運賃上限は引き続き520円とする。

《承認》

(5) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

【事務局説明】・・・資料5

- ・デマンド交通あづみんの運行に関する、令和5年度から令和7年度の計画である。
- ・市内全域を移動するデマンド交通と、東西の鉄道を結ぶ定時定路線を運行することで、交通空白地帯を解消し、病院や商店などへのアクセス、通勤通学の足を確保するものである。
- ・令和4年11月から、デマンド交通のリニューアルを計画している。
- ・令和4年10月以降で、デマンド交通に使用する車両を新たに2台購入する。

《承認》

#### 4 報告事項

(1) 各路線運行実績報告について

【事務局説明】・・・資料6

- ・令和3年度デマンド交通あづみんおよび定時定路線の利用実績について報告。デマンド利用

者は 78,975 人、定時定路線利用者は 10,444 人。

- ・デマンドは前年比 3,005 人の増、定時定路線は前年比 2,550 人の増。

《確認》

**【耳塚委員説明】**

- ・あづみ野周遊バスは令和 4 年 4 月 29 日から運行を行い、年間 71 日運行し利用者は 2,904 人。
- ・中房線は令和 4 年 4 月 28 日から 11 月 3 日までの延べ 190 日間運行を行い利用者は 14,602 人。

《確認》

**【小岩井委員説明】**

- ・信州まつもと空港シャトル便について、乗車人数 1,568 人であった。
- ・令和 4 年 3 月 27 日から運賃改定を行った。

《確認》

(3) デマンド交通「あづみん」のリニューアルについて

- ・システムの更新により、アプリによる予約が可能、キャッシュレス決済サービスの導入、デマンド車両発着予定時刻の事前通知、ロケーションシステムの搭載が可能となる予定。
- ・デマンド交通運行車両を 2 台増車し、予約のお断りが多いエリアへの配車を行う。
- ・利用者からの要望が多いことから、土曜日の実証運行を行う。
- ・午前 8 時便の電話による当日予約を可能とするため、予約のニーズを把握するために実証実験として期間を限定して、予約受付開始時刻を繰り上げる。
- ・利用者の移動ニーズが多い施設について、共通乗合エリア等の設定の見直しを行い、移動の円滑化を図る。
- ・運賃の収受、乗降時の簡単な介助、車内でのコミュニケーションの役割を担う存在として、利用者の評判や必要性について検証するため、期間を限定して、車掌を乗車させる。

《確認》